

地域活動レポート

日頃より、地域の皆さんから様々なご意見・ご要望をいただいております。中でも地域の安心・安全に関わる案件については率先して取り組ませていただきます。どうぞお気軽にご連絡ください。



1. 「暗くてボールが見えない!」との声を受け、**玉川中学校の校庭**に夜間照明を新設してもらいました。
2. 長らく封鎖されていた**玉川小学校の遊具**ですが、今春リニューアルされることになりました。
3. 一部不具合が見られた**玉川中町公園内のマンホールトイレ**を補修してもらいました。
4. ゲリラ豪雨対策として**用賀中町通り**の排水溝新設工事が進んでいます。中町小側のエリアへの対策も求めています。
5. 人通りの多い**上野毛駅前**の凸凹路面を補修してもらいました。
6. **用賀駅**に待望のエスカレーターが設置されました。下りホームへの設置も継続して訴えています。

区政報告会を開催しました

11月22日に区政報告会を開催しました。二子玉川の玉川総合支所仮庁舎を会場に、100名を超える方々にご来場いただきました。私からは世田谷区政が直面する課題、また玉川地域の現状についてお話をさせていただきました。多数のご来賓の皆様にも

お越しいただき、激励をいただきました。



地域の皆さんと



上野毛子ども祭りのお手伝い



夏休みのラジオ体操に参加



消防団員になりました!



用賀サマーステージにて



たくさんかつがせていただきました!



世田谷ハーフマラソンにて

世田谷区議会議員

自民党

おぎのけんじ

区政レポート vol.6 H30年冬号

❄️ ごあいさつ

昨年は夏に都議会議員選挙、秋には衆議院総選挙が行われました。おかげさまで世田谷区においては我々自民党の議席全てが守られる結果となりました。北朝鮮の脅威、自然災害への備えなど、区だけではどうにもならない問題も多々ありますが、国・都・区の連携をより一層密にして、地域のため全力を尽くしてまいります。私の任期も残すところ約1年となりました。初心を忘れず、地域の皆様の声をしっかりと受け止め、行政に届け、行政を動かす努力を続けてまいります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

おぎのけんじ

⚙️ 世田谷区政の「今」

自然災害へのさらなる対策が求められています

昨年8月の多摩川花火大会（中止となりました）当日の豪雨では、**落雷による負傷者や浸水被害**が出てしまいました。また10月の台風21号においても、**多摩川の河川氾濫警報、土砂災害警報**が発令され、玉川地域でも避難所が開設される事態となりました。しかし**避難所である体育館で雨漏りが多数発生**するなど、まだまだ備えは万全とは言えません。すぐできること、中長期的にやるべきこと、双方の観点から、区に万全の備えをするよう働きかけていきます。



台風によりグラウンドが水没。堤防整備が急務。

本庁舎整備が本格的に動き出しました

世田谷区の本庁舎改築の設計業者が（株）佐藤総合計画に決まりました。今後1年かけて、建物の配置、フロア構成、必要な機能等を定めていく「**基本設計**」という作業が行われます。本庁舎は災害時には区民の生命と財産を守るコントロールタワーとなります。これまでも**災害対策機能の充実、広場機能の確保、区民の利便性向上**を再三訴えてきましたが、今後も折に触れ、追求してまいります。



2020年度から着工、2025年度に完成予定。

連絡先 各種お問い合わせ、後援会へのご入会（無料）など、下記までご連絡下さい。

討議資料

おぎのけんじ 後援会

〒158-0093 世田谷区上野毛4-13-11 / メール: info@oginokenji.jp

ホームページはこちら www.oginokenji.jp

facebook・twitter・ブログも是非ご覧下さい。「おぎのけんじ」で検索をお願いします。

TEL・FAX
03-6809-7120

議会活動レポート

昨年下半年の議会にて、以下の通り質問の場に立たせていただきました。目の前の課題はもちろん、100万人都市が現実味を帯びてきた世田谷にとって、現状の課題をクリアしつつ、それだけの人口に耐える行政制度をどう設計していくのかが今後の大きなテーマとなってきます。

第3回定例会：一般質問（9月21日）

1. 「2022年問題」への対応を含めた生産緑地保全策について
2. みどりの基本計画の実効性について



決算特別委員会：区民生活委員会所管質疑（10月6日）



1. まちなか観光の推進について：観光資源の発掘・PR手法、区内回遊性の向上策、東京2020大会に向けた「用賀いらか道」の活用と造園コンテストの開催など
2. 三軒茶屋・NTTビルへの公共施設集約計画の費用対効果について
3. 区が策定する「産業ビジョン」について：区内経済状況の分析、今後のAI活用策など

決算特別委員会：都市整備委員会所管質疑（10月12日）



1. 東京2020大会に向けた「用賀いらか道」の再整備について
2. 公共交通不便地域対策について：遅々として進まない現状について、民間活力・ITの活用を
3. 二子玉川公園でのさらなるにぎわいの創出について：移動販売車の導入、大規模遊具の設置など
4. 所有者不明の空き家への対応について

決算特別委員会：文教委員会所管質疑（10月13日）

1. プログラミング教育必修化を見据えた取り組みについて
2. 「総合的な学習の時間」への授業時間数の配分のあり方について
3. 学校遊具の安全性について：安全点検実施状況、問題が見つかった場合の対応など

第4回定例会：一般質問（11月28日）

1. 学校施設の自然災害への耐性について
2. 子どもたちが放課後を過ごす新BOP事業の今後の展開について
3. 本庁舎整備における災害対策機能のあり方について



パソコン・スマートフォン等でも、議会の議事録や動画がご覧いただけます。詳しくは世田谷区議会ホームページ（<http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai>）にアクセスしてください。

視察報告

議会閉会中は、区内また地方を含めた他自治体の視察に積極的に行っています。実際に現場を見ることで、新たな課題意識が生まれることもしばしばです。



道頓堀のにぎわい創出事例を視察



甲府市役所本庁舎を区議団で



新BOP室は10校以上視察し議会で質問



区内農家の皆さんと意見交換

Pick Up 生産緑地保全のための特定生産緑地制度の活用について

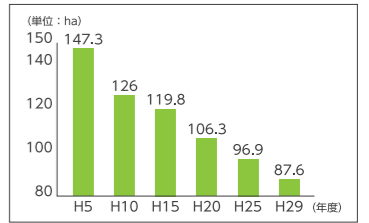
おぎの 来年度新設される特定生産緑地制度は、区内の農地保全に極めて重要な施策になりうると考える。特定生産緑地の指定は、生産緑地指定から30年が経過する前に土地所有者の同意を得た上で行うこととされており、それ以降追加の指定はできない。2022年に向け、区ではこの制度をどのように周知し、活用していくつもりか。

産業政策部長 まず農業者団体等を通じた説明会を行い、農業者の意向を把握しつつ、制度の詳細やメリットについて周知を徹底していく。また区では現在、世田谷区農業振興計画の改定に取り組んでいる。計画においても、生産緑地を活用した産業振興策について、農業者や農業者団体等と意見交換しながら盛り込んでいく。

2022年問題：1992年に初めて生産緑地として指定された農地が、30年の期限を迎える2022年に、その多くが指定解除され、不動産市場に大量に売却される可能性があることを称して2022年問題とされている。



生産緑地では農業体験なども行われている



総面積はピーク時に比べ40%減

Pick Up 20年間で88億円もかかる移転計画の根拠を明確にせよ

おぎの 分散化していた事業を三茶のNTTビルに集約する効果として、現在は建物の賃貸料が年間9,000万円上がるというマイナスの想定しかなく、移転をする理由もメリットも分からない。事業間の相乗効果が生まれるとすれば、その効果をはっきりと数字で示せ。

世田谷総合支所副参事 費用対効果については、引き続き検討精査を進めていく。11月の常任委員会で示していく。

※その後、費用対効果の詳細は示されないまま、本計画自体の白紙撤回が区より示された。

Pick Up 老朽化に伴う課題が顕在化した学校の改築前倒しについて

おぎの 台風21号により玉川小学校の一部が浸水し休校を余儀なくされた。体育館では雨漏りが発生、さらに庇のモルタルも剥落する危険な状態になった。「世田谷区建物整備・保全計画」の工程表において学校改築の工程が示されているが、玉川小のように大きな実被害が出た学校については、改築前倒しの即断をせよ。

教育次長 台風や豪雨などによる被害があった学校については、被害の大きさや修復工事の規模、学校運営への影響、避難所機能の確保などを考慮しながら改築の検討を行っていく。玉川小学校についても施設上何点か問題があったことは認識をしている。

※玉川小の体育館のモルタル補修工事は既に終了している。



台風翌日の玉川小校内の様子。



強風により剥がれ落ちたモルタル。



次回定例会に向けて

毎年この時期は来年度予算編成に向け、行政から事前説明を受けますが、来年度も約3,000億円規模の予算が組まれることになりそうです。上記三軒茶屋への公共施設移転計画でも触れましたが、確たる見込みのないまま事業化に踏み切ろうとする例がまだまだあります。皆さんからの納税がきちんと活かされるよう引き続き注視してまいります。次回は予算以外にも本庁舎整備、民泊への独自規制を盛り込んだ条例など、様々な議論が交わされる定例会となりそうです。



今後の議会スケジュール

平成30年第1回定例会：2017年2月21日～3月27日 | 第1回臨時会：5月中旬 | 第2回定例会：6月中旬